

河内長野市は街？それとも田舎？

南花台中学校 2年

大原田 雅美

私には前々から疑問に思っていたことがありました。それは、「河内長野市は街なのか、それとも田舎なのか」ということです。

現在の河内長野市は二つの要素を含んでいると思います。それは街と自然。街とは基本的に人の住むところ。自然とは山や川などもともとあるもの。つまり、人が住みにくいところ、といったものでしょうか。河内長野を見てみると、自然は結構あります。住宅街の裏が山というのもここでは見なれた景色です。

しかし、全体で見えてみると、やはり自然は少ないです。最近よく言われている、森林の伐採や地球温暖化などの自然破壊がおもな原因だと思っています。なぜなら、人間は他の動物たちとは違って、環境に合わせて体を変化させることが出来ないからです。そのかわり、人間は体に合わせて環境を変えることができます。暑い夏にクーラーを使ったりするので。しかしその分、自然に大きな負担がかかってしまうのです。

河内長野市はたしかに街です。たくさんの人が住み、快適に暮らしています。しかし、その反対で自然だけのエリアもあります。つまり、「自然と一緒に暮らすところ」田舎のような一面もあるのです。

どちらかといえば、河内長野市は街でしょう。しかし、一方で田舎のような一面もあります。それが河内長野市の特長なのです。

だから、私はこの河内長野の特長をずっと保ってほしいと思います。そして、その特長を保つには、自己管理が必要だと思います。これから先、自然はどんどん減っていくでしょう。そんな中、自然を守れるのは、

「少しでもゴミを減らす」「クーラーの温度を少しでも上げる」などの自己管理なのです。一つ一つはたいしたことはなくても、みんながやれば、

大きな力になっていくのです。

今日から十年後、河内長野市はどうなっているのでしょうか。どんどん近代化が進み、ハイテク化が進んでいるのではないのでしょうか。しかし、人間が次々と快適な生活を目指し、進化していく度に、自然は退化していくような気がします。

ですから、前に書いたように、自己管理も大切ですが、それだけでは自然と共存はできないのだと思います。自己管理以上に大切なものであり、それがなければ自己管理すらも存在しないもの、それは、決意だと思います。「これからはゴミをできるだけリサイクルをしよう。」などの決意があり、それが自己管理につながり、最後にその決意を実行に移す、実はその決意を実行に移すのが、一番難しかったりするのです。

これからの河内長野を築いていくためにはまず、数少なくなってきた自然を守り、共存すること。そうすることによって、未来の河内長野もいい方向にいくと思います。